

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国語 I	
科目基礎情報							
科目番号	1A01			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	前期:4 後期:2		
教科書/教材	教科書 北原保雄監修「精選 国語総合 改訂版」(大修館書店)。参考図書 国語辞典、古語辞典、漢和辞典						
担当教員	小宮 厚						
到達目標							
1 文章を的確に読み取り、ありありと感受し、自分なりの判断を持つことができる。 2 相手を意識して、自分の考え、思い、感じることを適切に表現し、伝達できる。 3 日本語を多面的に理解し、日本語への関心を深め、進んで読書することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文学作品を正確に豊かに読み味わえる		文学作品を正確に読解できる		文学作品を正確に度読解できない		
評価項目2	自身の理解を適切に表現し、伝達できる		自身の理解を表現し、伝達できる		自身の理解を表現し、伝達できない		
評価項目3	日本語への関心を深め、自発的・意欲的な読書姿勢が身についている		日本語に関心をもち、自発的な読書の姿勢がみられる		日本語に関心が持てず、自発的な読書姿勢が見られない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本語で書かれた文章(現代文、古文、漢文)を的確に読み、感受し、判断して、よりよく思索するための基本的な日本語力を培うとともに、相手を意識して、自分の考え、思い、感じることを適切に表現・伝達できる能力の伸張を目指す。あわせて、言語としての日本語の性格を理解し、ことばによる表現・理解とは何か、についての認識を深め、進んで読書する態度を培う。						
授業の進め方・方法	・前期は週2回、後期は週1回の授業だが、現代文編と古典編を交互に実施する場合には、現代文2:古典1の比率を目安とする。 ・本文を予め読んで授業を受けるということを習慣化してほしい。教科書の文章は日本語としても優れており、声に出して読むことを勧める。古文や漢文は、暗誦するまでに読み込んでほしい。 ・授業の発展として、問題意識を持って読書に励み、また自分の考えや思いを文章に書いてみるという習慣を早く身につけてほしい。						
注意点	中間試験40%、期末試験40%、課題等20%を目安として評価する。60点以上を合格とする。必要に応じて再試験を行う。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	現代文編 評論一「まずは形から」ほか 古文編 古文入門「ねずみの婿とり」ほか			論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。／古文の基礎知識を確認し、説話からいにしへの庶民文化を理解する。	
		2週	現代文編 評論一「まずは形から」ほか 古文編 古文入門「ねずみの婿とり」ほか			論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。／古文の基礎知識を確認し、説話からいにしへの庶民文化を理解する。	
		3週	現代文編 小説一「羅生門」ほか 古文編 徒然草・竹取物語・伊勢物語			人物の心理の移り変わりを詳細に読み取り、社会状況と人生観のかかわりについても考察する。／随筆・物語から古代の人々の営みを知り、物語が構成の文学に与えた影響についても考察する。	
		4週	現代文編 小説一「羅生門」ほか 古文編 徒然草・竹取物語・伊勢物語			人物の心理の移り変わりを詳細に読み取り、社会状況と人生観のかかわりについても考察する。／随筆・物語から古代の人々の営みを知り、物語が構成の文学に与えた影響についても考察する。	
		5週	現代文編 小説一「羅生門」ほか 古文編 徒然草・竹取物語・伊勢物語			人物の心理の移り変わりを詳細に読み取り、社会状況と人生観のかかわりについても考察する。／随筆・物語から古代の人々の営みを知り、物語が構成の文学に与えた影響についても考察する。	
		6週	現代文編 評論二「自然と人間のおして考える」ほか 漢文編 漢文入門 「漢文とは」			論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。／漢文の基礎知識を確認し、各作品を正確に読みこなす力をつける。	
		7週	現代文編 評論二「自然と人間のおして考える」ほか 漢文編 漢文入門 「漢文とは」			論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。／漢文の基礎知識を確認し、各作品を正確に読みこなす力をつける。	
		8週	現代文編 小説二「セメント樽の中の手紙」ほか 漢文編 故事成語「漁夫之利」ほか			労働者と資本家、その対立の中から生まれたプロレタリア文学とはどのようなものか、文学による社会運動とは何かを考える。／エピソードの一つ一つを理解し、そこから導き出された格言の意味を味わう。	
		2ndQ	9週	現代文編 小説二「セメント樽の中の手紙」ほか 漢文編 故事成語「漁夫之利」ほか			労働者と資本家、その対立の中から生まれたプロレタリア文学とはどのようなものか、文学による社会運動とは何かを考える。／エピソードの一つ一つを理解し、そこから導き出された格言の意味を味わう。

		10週	現代文編 小説二「セメント樽の中の手紙」ほか 漢文編 唐代の詩 「春望」ほか	労働者と資本家、その対立の中から生まれたプロレタリア文学とはどのようなものか、文学による社会運動とは何かを考える。ノエピソードの一つ一つを理解し、そこから導き出された格言の意味を味わう。
		11週	現代文編 評論三「空気を読む」ほか 古文編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。ノ和歌の修辞法に精通し、また軍記物語・日記文学・紀行文など、様々な文学形式を味わう。
		12週	現代文編 評論三「空気を読む」ほか 古文編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。ノ和歌の修辞法に精通し、また軍記物語・日記文学・紀行文など、様々な文学形式を味わう。
		13週	現代文編 評論三「空気を読む」ほか 古文編 和歌・平家物語・土佐日記・奥の細道	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。ノ和歌の修辞法に精通し、また軍記物語・日記文学・紀行文など、様々な文学形式を味わう。
		14週	現代文編 詩「贅のうへ」ほか 漢文編 唐代の物語 「人面桃花」	密度の高い詩歌の言葉を十分に味わう。音読によって調べの美しさを鑑賞する力をつける。ノ漢文は、中国小説独特のファンタジーの世界を楽しみ、中国文化への理解を深める。
		15週	現代文編 詩「贅のうへ」ほか 漢文編 唐代の物語 「人面桃花」	密度の高い詩歌の言葉を十分に味わう。音読によって調べの美しさを鑑賞する力をつける。ノ漢文は、中国小説独特のファンタジーの世界を楽しみ、中国文化への理解を深める。
		16週		
後期	3rdQ	1週	現代文編 評論四「方言コスプレ」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		2週	現代文編 評論四「方言コスプレ」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		3週	現代文編 評論四「方言コスプレ」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		4週	現代文編 小説三「友よ」ほか	小説から戦争経験者の痛みを読み取り、そこから戦争の現実と平和の大切さを考える糸口をつかむ。
		5週	現代文編 小説三「友よ」ほか	小説から戦争経験者の痛みを読み取り、そこから戦争の現実と平和の大切さを考える糸口をつかむ。
		6週	現代文編 小説三「友よ」ほか	小説から戦争経験者の痛みを読み取り、そこから戦争の現実と平和の大切さを考える糸口をつかむ。
		7週	現代文編 短歌・俳句「いちはつの花」ほか	短歌・俳句を鑑賞する上で必要な基本事項を確認し、正確かつ豊かに内容を読み味わえる力を身につける。
		8週	現代文編 短歌・俳句「いちはつの花」ほか	短歌・俳句を鑑賞する上で必要な基本事項を確認し、正確かつ豊かに内容を読み味わえる力を身につける。
	4thQ	9週	現代文編 短歌・俳句「いちはつの花」ほか	短歌・俳句を鑑賞する上で必要な基本事項を確認し、正確かつ豊かに内容を読み味わえる力を身につける。
		10週	現代文編 評論五「技術としての「教養」」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		11週	現代文編 評論五「技術としての「教養」」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		12週	現代文編 評論五「技術としての「教養」」ほか	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。
		13週	現代文編 言語活動「意見文を書く」ほか	テーマに対する自分の意見を持ち、対抗意見を受け入れつつ、根拠を示しながら持論の正しさを主張できる力を備える。
		14週	現代文編 言語活動「通信文を書く」ほか	書簡・メールなど、社会活動で必要とされる筆記式の通信手段の形式・マナーに慣れる。
		15週	現代文編 言語活動「レポートを書く」ほか	テーマに関する文献調査・実地調査等を通して、確かな情報を収集し、そこから考察した内容をまとめる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前7,後12
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	後12
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	1	後4
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前1,後4

			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前1
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前2
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	前3
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	後14
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	後13
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	後13
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	後13
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	後15
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	後15
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	後13
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30